

# 王様の政治に“No!”市民革命勃発

そんな王様の支配が続く世の中に「No」と言い始める人がいた。学問や科学技術が発達していくと、「王様はどうして人々を道具のように扱ってもいいんだろう?いや、むしろいけないことをずっとしているんじゃないか?」と考える人も出てきた。

**ロック** 「人は生命・自由・財産を持っている。それを守るためなら革命を起こして王様に反抗してもいい! (抵抗権)」

**ルソー** 「人々は自分の命や財産を守るために、権力者と“契約”をしているに過ぎない。俺達の命や財産を脅かす権力者はいらないんだ! (社会契約論)」

**モンテスキュー** 「もう王様をなくして、立法と行政と司法の3つをバラバラに分けちゃおうよ! (三権分立)」

今まで王様に従う事が絶対だった人々にとって、「君たちの人生を歩んでいいんだよ」と言う言葉は強烈だった。そして18世紀、

## 革命が起こった。o(・`Д´・o)

### ①イギリス革命

1642年清教徒革命：クロムウェルを中心に王を処刑。一時、議会派が政治を行う。  
(後にクロムウェルが独裁して失敗)

1688年名誉革命：議会を無視した王を追放する。